

---

## 編集後記

“change”を唱えて、バラク・オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任した。その就任演説では、"Our challenges may be new. The instruments with which we meet them may be new. But those values upon which our success depends-honesty and hard work, courage and fair play, tolerance and curiosity, loyalty and patriotism-these things are old. These things are true. They have been the quiet force of progress throughout our history. What is demanded then is a return to these truths. (我々が立ち向かう挑戦は新しく、それに立ち向かう手段も新しいかもしれない。しかし、我々の成功の礎となる価値観は古い。それは誠実さと勤勉、勇気と公正、寛容さと好奇心、忠誠心と愛国心などだ。これらは普遍の真理である。そして我々の歴史を通じて前に進む静かな力となってきた。そうであるならば、いま求められているのはこうした真理に立ち戻ることだ。)"と、改革を行うためには、普遍の真理に立ち戻る必要があると述べた。

医療の世界も、治療法や医療制度が常に“change”している。しかし重要なのは、その“change”が誰のためになされているかである。

私たちは、常にリハビリテーションを必要とする人の方を向いて、そのひとが必要とする“change”を手助けできる研究を続けていかなければならないと考えています。

平成21年2月11日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人 代表 松本和久

---

---

京都在宅リハビリテーション研究会

第2巻

©平成21年2月11日発行

編集者 京都在宅リハビリテーション研究会事務局

(松本和久, 木村篤史, 富田健一, 永山智貴, 小西倫太郎, 林 愛子,  
神田佳明, 松本 渉, 垣村将典)

発行者 松本和久

〒629-0392 京都府南丹市日吉町  
明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター  
TEL (0771) 72-1221

印刷所 光和印刷